

当社広告「聖火はいつも、未来を照らす。」が日本新聞協会「第35回 新聞広告賞」で広告主部門 優秀賞を受賞

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本年3月に新聞各紙に出稿した広告「聖火はいつも、未来を照らす。」により、一般社団法人日本新聞協会「第35回 新聞広告賞 広告主部門 優秀賞」を受賞しました。10月20日に開催された第58回「新聞広告の日」記念式典において贈賞式が行われましたので、お知らせいたします。

「新聞広告賞」は、1981年(昭和56年)に新聞広告の新しい可能性を開拓した広告や広告活動を顕彰し、新聞と広告の発展に貢献することを目的に設けられた賞です。本賞は、「広告主部門」と「新聞社企画部門」の2部門から成っており、新聞紙上で優れた広告活動を展開した広告主企業、新聞社に贈られます。

今回の「第35回 新聞広告賞」において当社広告は、「新たなエネルギー社会の創造に貢献する使命感をストレートに表現するとともに、過去と未来をつなげて企業の姿勢をシンプルに伝え、2020年に向けて日本人を明るく元気にした作品」として高く評価されました。

当社は、本年3月18日に、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、東京2020スポンサーシッププログラムのパートナー契約を締結し、「東京2020ゴールドパートナー(契約カテゴリー:石油、ガス、電気供給)」となりました。

今回の広告は、当社が聖火の燃料となる灯油とガスを供給した1964年開催の東京オリンピックの聖火台の画像を使用し、「生まれ変わる東京の力になりたい。」とのキャッチコピーにより、2020年大会に向けた国民の期待をさらに高めていきたいとの想い、また「東京2020ゴールドパートナー(石油、ガス、電気供給)」として、新たなエネルギー社会の創造に貢献したいという当社の使命感を表現しております。

当社は、ゴールドパートナーとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の安定的な運営に貢献するとともに、当社行動指針の一つである「社会との共生」のもと、引き続き、スポーツ・文化の振興や次世代育成に積極的に取り組んでまいります。

以上

<広告「聖火はいつも、未来を照らす。」>



JOC・JPC / 東京 2020 ゴールドパートナー
(石油・ガス・電気供給)

